

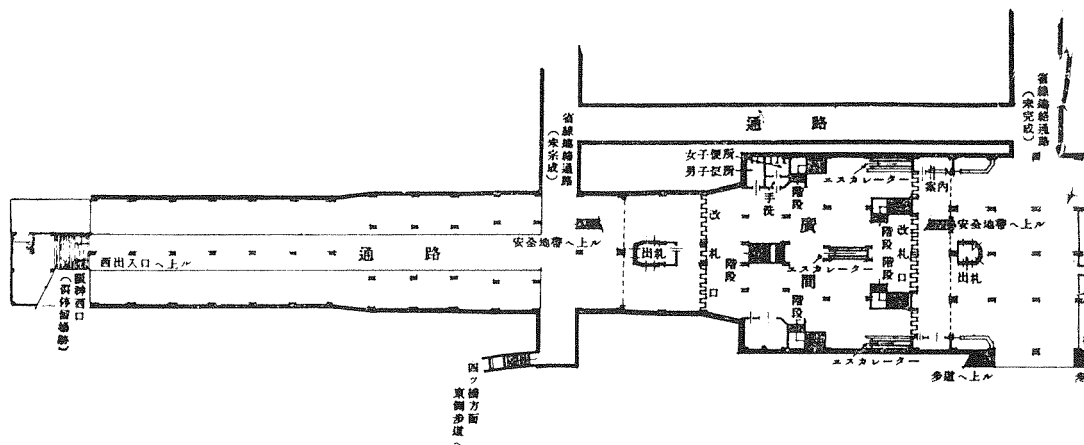
尚渉線には可動K字轍叉を使用して列車の乗心地をよくした。

### ニ、換気設備

屋外空気をシャフトにより停留場本屋第二地階機械室に導入し、濾過塵埃を除去清浄とせるをそのまま或は之れに加熱又は冷却、給

湿又は脱湿の上二臺の送風機（スーパーシロッコ片側吸込型、50馬力及30馬力電動機各一臺使用）により乗降場下に配置せる通気管を経てレジスターより場内に吹き出させ、常に保健衛生的ならしめてゐる。第一地階に送入する空気量は、毎分 650 立方米にて、場内空

## 阪神電鐵梅田停留場地階及地下線平面圖



気を毎時約四回半換へることとなり、第二地階乗降場に對しては毎分 1,250 立方米にて、場内の空気を毎時約二回半交換する。又この外隧道内の空気が列車の運行の際に起るピストン作用により、相當多量に換氣が行はれる。

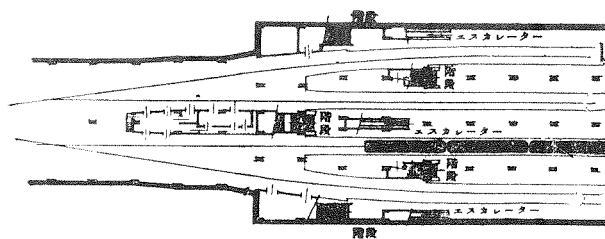
### ホ、給水設備

水源は大阪市水道に依り停留場第二地階に設けた受水槽に受水した後、給水兼消火唧筒により壓力水槽に壓入し、停留場第一地階及第二地階の消火栓、撒水栓水呑等に給水する。給水兼消火唧筒は壓力水槽内壓力の昇降に従ひ、自動的に發停するものとし、消火栓使用の場合は弁の切替に依り、壓力水槽を経ずして直接送水し得る様配管した。

### ヘ、排水設備

乗降場及隧道内の排水は軌道中心に設けた溝により、其他の雑排水は乗降場下に設けた排水管により、溜槽に導きポン

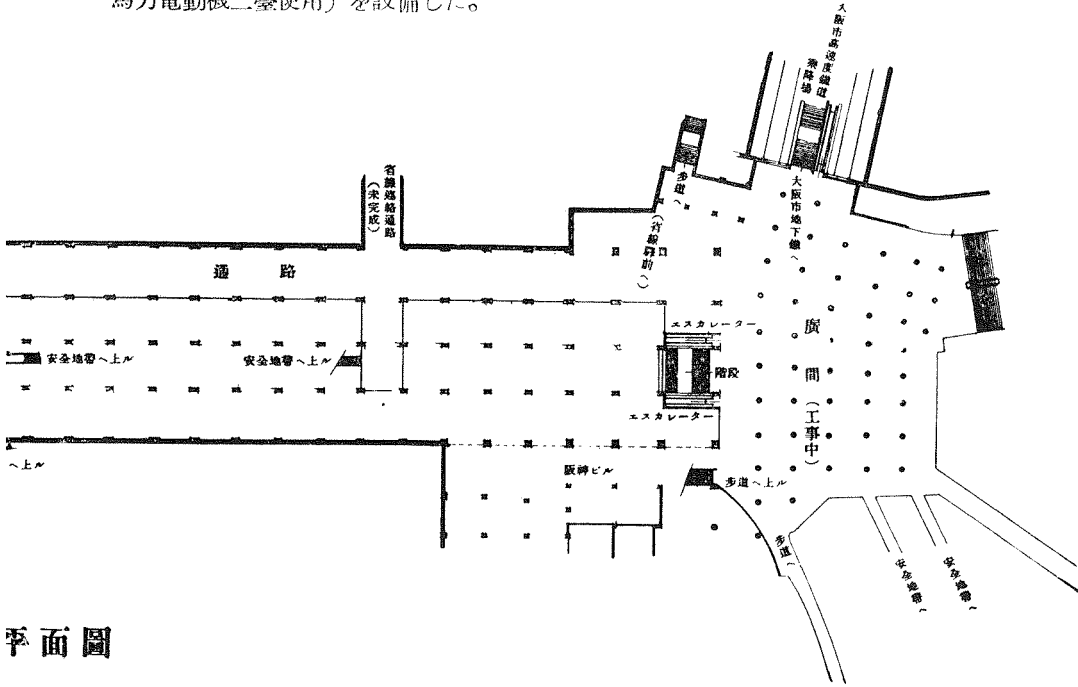
## 地下一階



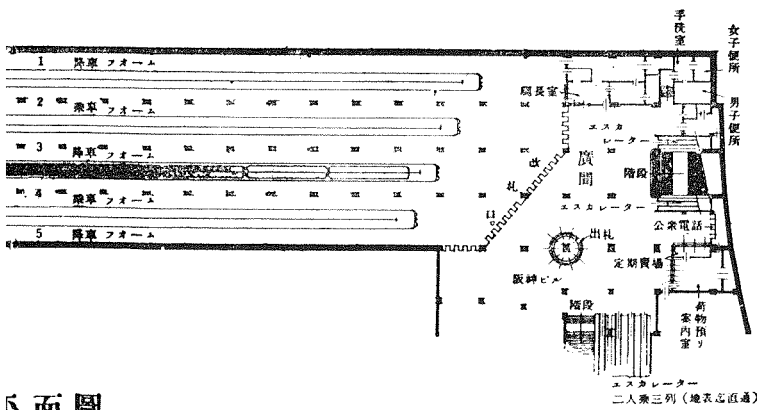
## 地下二階

ブにて停留場外に排水するものにて、溜桧は乗降場西端の階段下ニク所に之を設け、北側階段下にはポンプ二臺（10馬力電動機一臺及停電の際の豫備として37馬力ガソリンエンジンを一臺使用）南側階段下にはポンプ二臺（10馬力電動機二臺使用）を設備した。

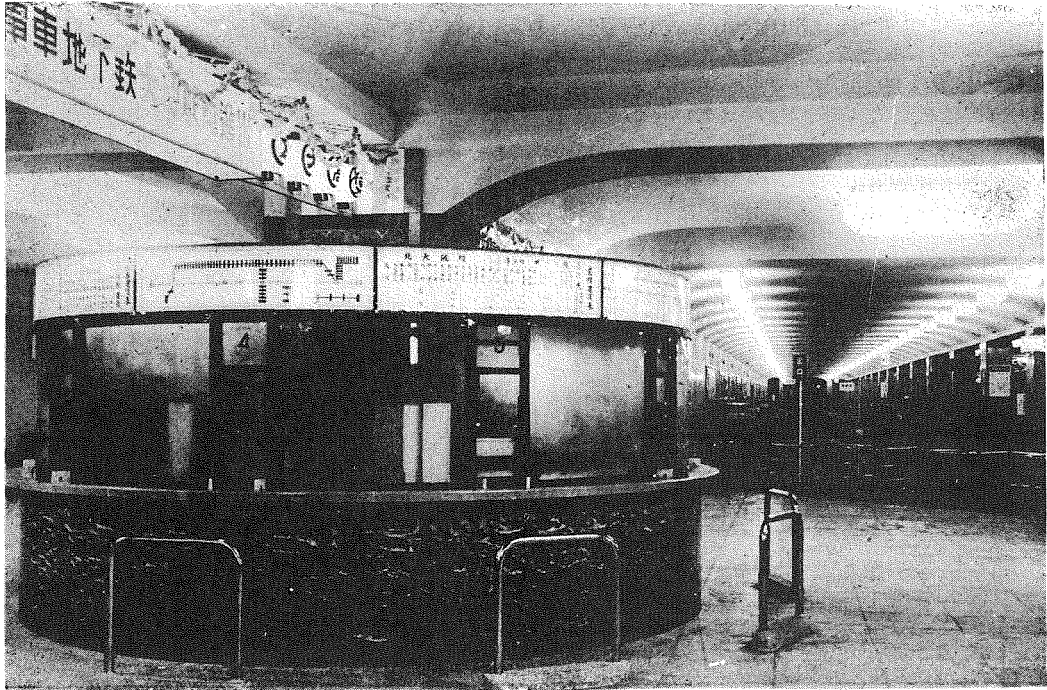
切取部分の排水は隧道入口附近に設けた溜桧に導きポンプ二臺（10馬力及25馬力の電動機各一臺使用）を設置し、隧道外に排水するものにして、ポンプはいづれも水位の昇降に従ひ自動的に發停する設備とした。



平面圖



平面圖



5. 東部廣間出札室附近より改札を望む。

### ト、配電設備

停留場には東及西の二ヶ所に配電室を設けた、尙東配電室には蓄電池を置き、電源故障の際は直ちに一部の電燈に送電し、停留場が暗黒となることなき様設備した。

#### 東配電室

設備變壓器電燈用	250 K V A	三臺
動力用	250 K V A	二臺
配電盤	高壓	11回
	低壓	7回
豫備蓄電池	1時間放電率	296 A H
	10時間放電率	580 A H
		56箇
蓄電池充電装置		1組

#### 西配電室

設備變壓器電燈用	75 K V A
動力用	75 K V A
信號用	75 K V A
配電盤低壓	3面

配電線は次の通りである。

隧道外架空三相三線式電壓交流 3,500 V 二回線 3 耗19本撚第二種絕緣硬銅撚線。架空單相二線式電壓交流3,500 V 一回線5耗第二種絕緣硬銅線。

隧道内交流三相三線式電壓 3,500 V 60平方耗三蕊護謨絕緣絨斗捲被鉛電纜二回線。22平方耗三蕊護謨絕緣絨斗捲被鉛電纜一回線

#### 子、電車線路、饋電線路及歸線路

##### 1. 電車線路

隧道外シングルカテナリー式

鏈線 4.5耗七本撚硬銅撚線

電車線 150平方耗溝付電車線

##### 隧道内コンバウンドカテナリー式

主吊架線 2.6耗61本撚裸硬銅撚線

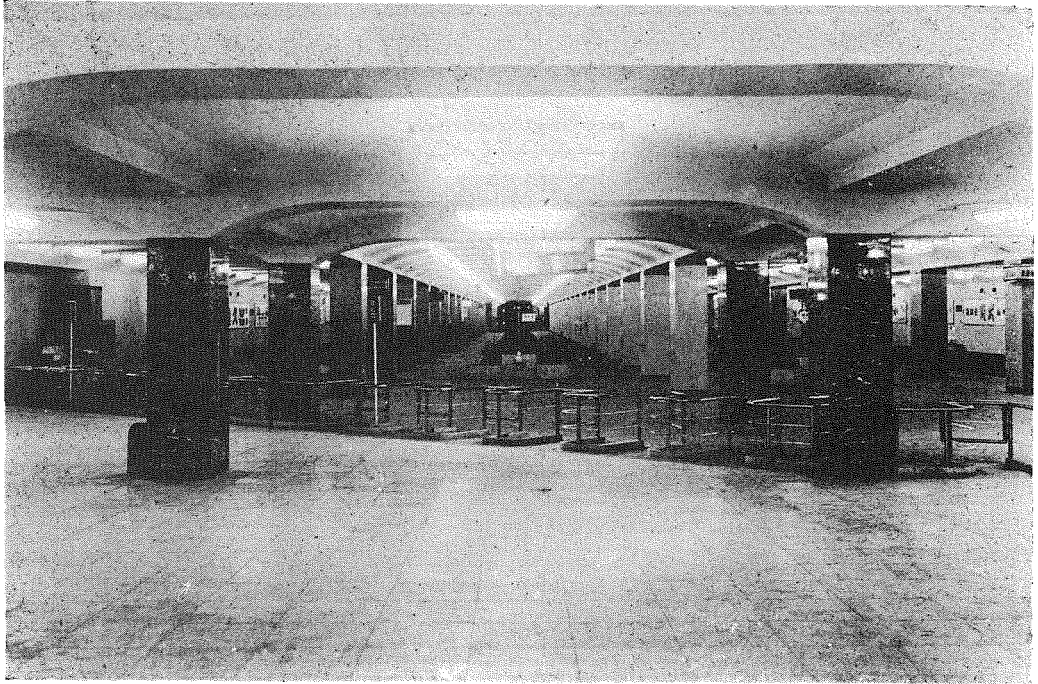
補助吊架線 2.6耗19本撚裸硬銅撚線

電車線 150平方耗溝付電車線

##### 2. 饋電線路

隧道外 2.6耗61本撚裸硬銅撚線

隧道内主吊架線を兼用す



## 6. 東部廣間改札附近より乗降場を望む。

### 3. 歸線路

架空歸線(隧道外) 2.6耗61本燃裸硬鈎燃線  
三條

軌條接續(隧道外)熔接ボンドにより接續す  
(隧道内)テルミット熔接により接續す

### リ、電話設備

一般公衆用電話の外に全線に通ずる電気鐵道用の私設電話及び本停留場の構内専用の私設電話(自動交換式)を設備した。

### ヌ、電燈設備

電気は東西の配電室より送電し、配電方式は幹線は何れも三相三線式とし、分電盤より單相二線式で分岐してゐる。照明器具はシーリングライトシヤンデリヤ及びブラケットを用ひてゐる。

### ル、運轉保安信號裝置

閉塞信號裝置は三位式自動信號裝置を採用し、梅田停留場には第一種全電気式の聯動裝置を置き尙信號所内には福島梅田間の照明

軌道盤を裝置し、列車の運行位置を自動的に示すことゝした。

### ヲ、エスカレーター裝置

停留場本屋客用

二人立櫛型上下可逆式三臺、45馬力電動機使用、輸送能力毎時最大 10,000人

東廣間客用

二人立櫛型上下可逆式二臺、20馬力電動機使用、輸送能力毎時最大10,000人

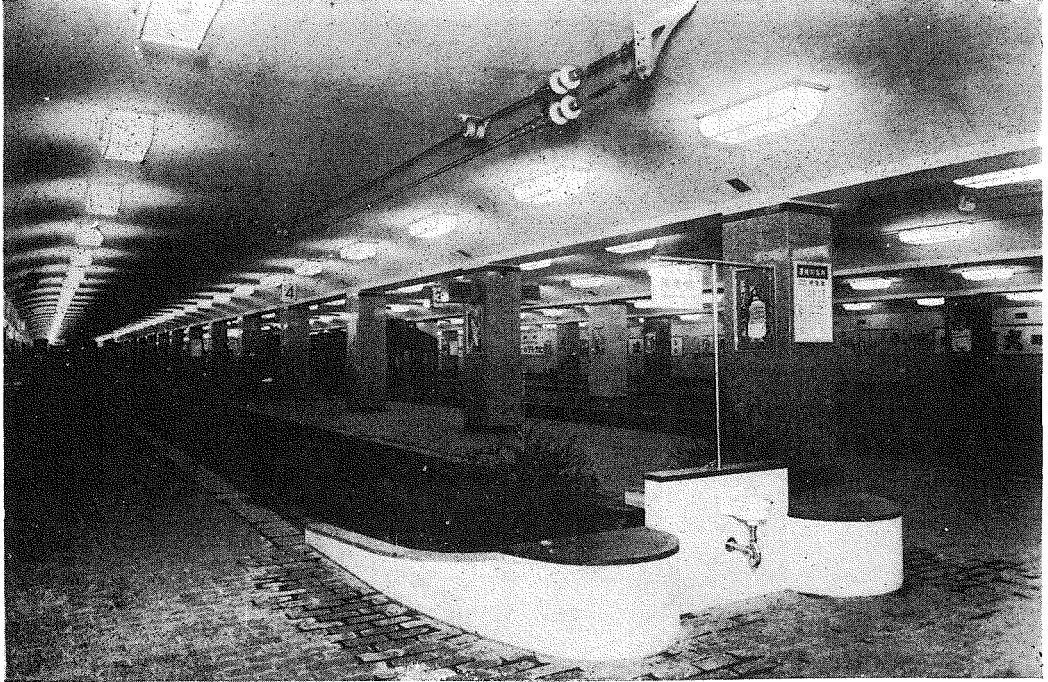
乗降場西部客用

准二人立櫛型上下可逆式三臺、15馬力電動機使用

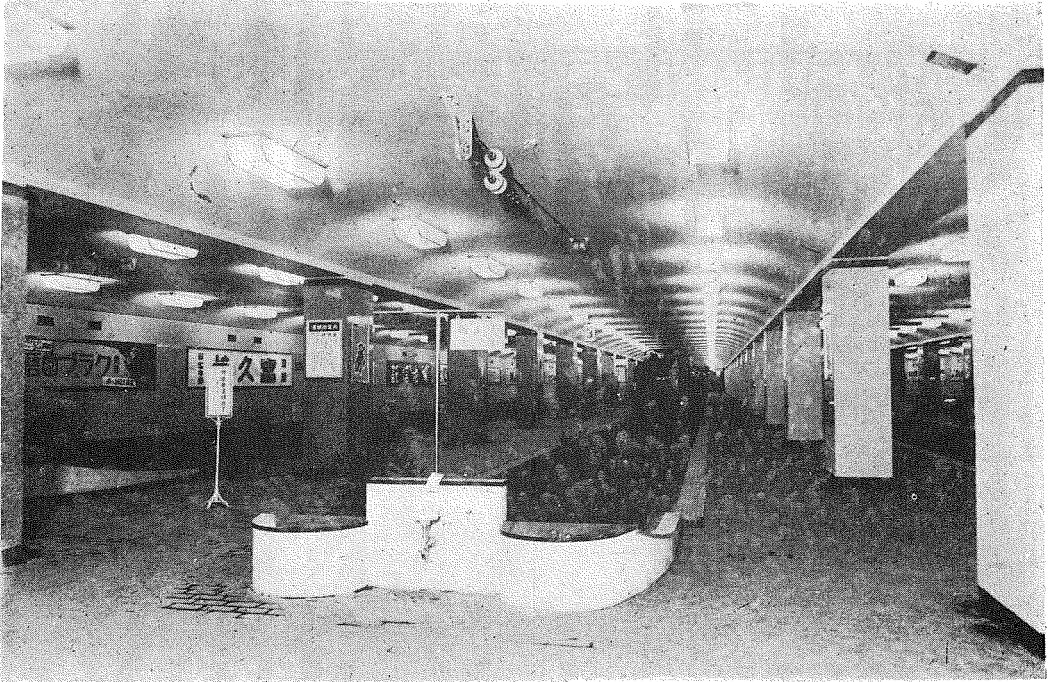
輸送能力毎時最大 7,500人

施工 株式會社 大林組

(以上)



7. 乗降場東端車止附近。



8. 乗降場東端より西端を望む。

9. 乗降場西端エスカレーター及階段を望む。

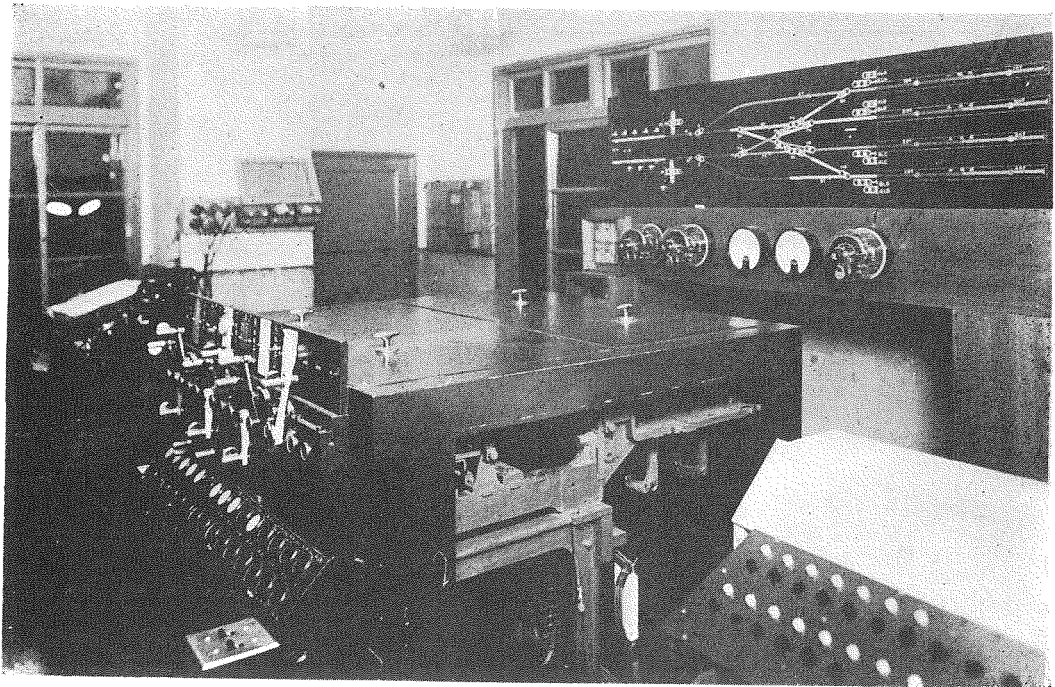


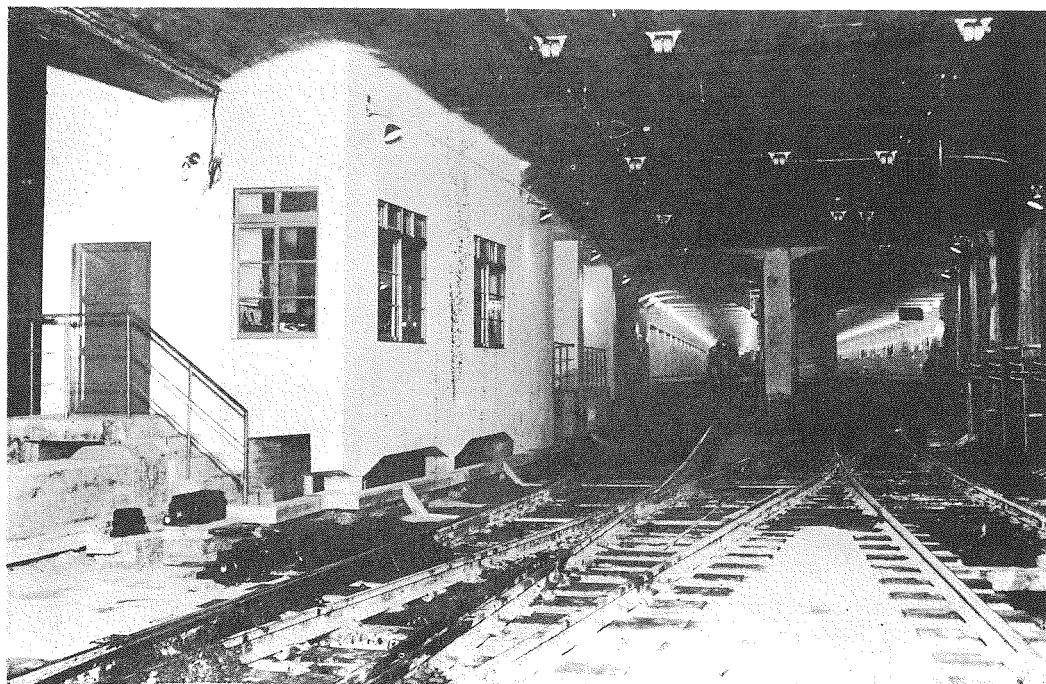




10. 第一地階西部改札附近。

11. 第一種全電氣式聯動裝置。





12. 涉線附近より信號室を望む。

13. 涉線附近より乗降場方面を望む。

